

(別記)

オールふくしまごみ減量推進事業委託業務 仕様書（案）

1 目的

この仕様書は、福島県（以下「甲」という。）が〇〇〇〇（以下「乙」という。）に委託する、オールふくしまごみ減量推進委託業務を円滑かつ効果的に運営するため、必要な事項を定めることを目的とする。

2 実施期間

令和5年5月 日から令和6年3月31日まで

3 業務内容

(1) ごみ減量キャッチコピーコンテスト（仮称）の実施

- ・次のスケジュールでコンテストを実施すること。
コンテストの仕組み（概要）について
6月上旬から7月中旬 キャッチコピーの募集（応募対象は県民）
7月下旬から8月上旬 審査
8月 優れたキャッチコピーの提案者に副賞等を送付
（表彰式は原則実施しない）
- ・キャッチコピーは「福島県環境アプリ」内で募集するものとし、当該募集にかかる応募フォームの公開は、同アプリ運営受託者が作業し、費用を負担する。募集するキャッチコピーはごみ減量をテーマとする。当事業の受託者においては、募集にかかる企画・進行管理を行うこと。
- ・表彰は最優秀賞（1点）、優秀賞（1点）、入選（2点）を選定するものとし、各受賞者への表彰状及び副賞、並びにその他の受賞者への景品は委託料から支出する。また、受賞者への副賞等の送付も委託料から支出するものとする。

<企画提案事項1>

応募数を増やすための効果的な募集啓発について提案すること。

(2) 特設サイトの制作および運営

- ・(1)のごみ減量キャッチコピーコンテスト（仮称）にて表彰されたキャッチコピーの紹介を組み込んだ、ごみ減量に係るウェブサイトを作成し、遅くとも令和5年10月上旬までに公開を開始すること。公開の終期は令和6年3月末日までとする。

<企画提案事項2>

サイトデザインのラフ案について提案すること。

(3) ごみ減量実践動画コンテスト（仮称）の実施

- ・次のスケジュールでコンテストを実施すること。
コンテストの仕組み（概要）について
10月上旬から11月中旬 動画の募集（応募対象は県民）
11月下旬から12月中旬 審査
1月 優れたアイデア動画の投稿者を表彰

- ・(1)のごみ減量キャッチコピーコンテスト（仮称）にて、最優秀賞を受賞したキャッチコピーをテーマとし、テーマに沿った実践動画（最長2分程度）を募集すること。
- ・実践動画は（2）の特設サイトで募集するものとし、告知のためにポスターの制作及び、テレビ番組によるPR等、啓発を図ること。
- ・表彰は最優秀賞（1点）、優秀賞（2点）、入選（2点）を選定するものとし、受賞者への表彰状及び副賞は委託料から支出する。

<企画提案事項3・4・5>

特設サイトでの実践動画募集画面のラフ案を提案すること。

実践動画募集に関するポスターのラフ案を提案すること。

上記のほか、効果的な募集啓発について提案すること。

(4) ごみ減量の啓発

- ・ごみ減量実践動画コンテスト（仮称）で表彰された動画を特設サイト及び福島県環境アプリに掲載し、マスメディア（ウェブ含む）を活用した啓発より特設サイトに誘導し、実践動画の周知及びごみ減量の啓発を図ること。
- ・テレビ番組による実践動画のPRを実施し、啓発すること。
- ・市町村や公共施設などで掲示・配布するためのポスター及びフライヤーを作成すること。

<企画提案事項6・7・8>

表彰された動画を掲載時の特設サイトのラフ案を提案すること。

特設サイトへの誘導を含む、ごみ減量の啓発に係るポスターのラフ案を提案する

こと。

上記のほか、効果的な啓発について提案すること。

4 業務実施体制

- (1) 本事業の趣旨、内容を十分に理解し、かつ、業務遂行に必要な知識・能力・経験を有する要員を配置すること。
- (2) 本業務の企画運営スケジュールの管理を適切に行うこと。
- (3) 甲と随時打合せを重ね、無理のないスケジュールで進めることができるよう努めること。
- (4) 本仕様書に定めのない事項や疑義が生じた時は、双方協議の上、決定するものとする。ただし、明示のない事項にあっても、社会通念上当然必要と考えられるものについては、本業務に含まれるものとする。

5 権利の帰属

- (1) 本委託事業の成果品に関する一切の権利は、原則、福島県に帰属するものとする。
- (2) 乙は、甲及び甲が指定する第三者に対し、著作権人格権を行使しないものとする。

6 提出書類

- (1) 着手届（様式第1号）
委託業務の着手時に提出すること。
- (2) 完了届（様式第2号）
委託業務の完了時に提出すること。
- (3) 成果品
甲が必要と認める書類等とする。

7 その他

- (1) 業務の実施に必要な経費は契約金額に含まれるものとし、甲は契約金以外の費用を負担しない。なお、業務の実施に必要な経費には次のものを含むものとする。
 - ごみ減量キャッチコピーコンテスト（仮称）の実施関係
募集促進策経費（記念品贈呈等）
 - ごみ減量実践動画コンテスト（仮称）の実施関係
ウェブサイト構築費用（デザイン費含む）、ウェブサイト保守管理費、募集啓発ポスター制作費（A2版2,000部、デザイン費含む）、コンテスト実施後啓発フライヤー制作費（A4版10,000部、デザイン費含む）、コンテスト実施後啓発ポスター制作費（A2版2,000部、デザイン費含む）、フライヤー・ポスター発送費、募集促進策経費（記念品贈呈等）
 - ごみ減量実践動画コンテスト（仮称）表彰関係
審査関係（予備審査・本審査）・表彰関係、審査員（3～5名想定）の報償費及び旅費、表彰状、副賞、会場制作（パネル、備品他）
 - ごみ減量の啓発関係
ごみ減量実践動画紹介ツールの作成
- (2) 必要な資料及び情報の収集等は業務に含まれる。
- (3) 業務に係る記録については、HPや報告書等で外部公表する可能性があるため、関係者から事前に了承を得ておくこと。
- (4) 業務の実施に当たり、知り得た内容を第三者に漏らしてはならない。
- (5) 仕様内容及び数量等に変更が生じた際は、協議を行うものとする。
- (6) 新型コロナウイルス感染症の影響により、仕様書内容の実施が困難な場合、又は内容を縮小せざるを得ない場合、契約金額、契約内容等に変更が生じることがある。変更内容については、甲乙協議のうえ、定めることとする。